

人が足りないのは「人」の問題ではない 業務のムリ・ムダ・ムラ解消による 人手不足解決方法

～AIやDXによらない業務効率向上の7ステップ～

日時 2026年6月26日(金) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 角川 真也 氏 株式会社トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 受講料 46,200円(資料含む、消費税込)

受講効果

- [1] 間接業務のムダを可視化し、現場の余力を生み出す手法を習得できます。
- [2] 惰性的な業務を整理し、コア業務へ人員をシフトする具体策が学べます。
- [3] AI・DX投資に頼らず、業務の進め方を見直す「7ステップ」を習得できます。
- [4] 業務の平準化により負担を軽減し、活気ある職場環境を構築できます。

プログラム

1. 人手不足問題にどう対処するのか?
 - 1) 人手不足問題の放置は会社をつぶす(事例紹介)
 - 2) 一般的な対処方法とその問題点
 - 3) TMS研の推奨する「業務効率向上の7ステップ」とその理由
 - 4) 「人手不足問題にどう対処するか」で御社の業績と未来は大きく変わる
2. 社内から人員を捻出する(労働生産性15.7%向上事例紹介(所要期間:4ヶ月))
 - 1) 会議の削減(700名から42名捻出)
 - 2) 業務量の平準化(658名から34名捻出)
 - 3) 間接業務のムダ取り(624名から34名捻出)
3. 部署業務の現状を「見える化」する
 - 1) 間接業務の「ムリ・ムダ・ムラ」の「見える化」
 - 2) 業務の実態の「見える化」
 - 3) 業務の本来あるべき姿の「見える化」
4. 会議のムダをなくす
 - 1) 実態を「見える化」する(事例紹介)
 - 2) 会議の減らし方およびリバウンド防止方法
5. 業務のムリ・ムラをなくす
 - 1) 業務の実態を「見える化」する
 - 2) 3つの業務量平準化
 - 3) 業務量平準化を実現する○○○○○○管理システム(○○○○○○は当日開示)
6. 業務のムダを取る
 - 1) 従来の間接業務のムダ取りはなぜ失敗するのか?
 - 2) 実態 - 「あるべき姿」 = ムダ
7. 人員の流出を防ぐ
 - 1) 職場快適化活動および職場風土活性化活動
8. 質疑応答・個別アドバイス

受講にあたり

開催決定後、受講票並びに請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

